

研修会名：知覚運動のシステム理論

<研修概要>

日 時： 2019年5月26日（日）
時 間： 研修4 9：00～12：00
会 場： 徳島文理大学 むらさきホール

大会参加費のみ

研修形態	講義のみ		
予約申し込み	不要	予約定員	0人
予約費用	0円		
無料聴講	あり	聴講定員	800人

講 師： 樋口 貴広 氏（首都大学東京 人間健康科学研究科 教授）
荒木 秀夫 氏（徳島大学 名誉教授）

<研修内容>

① 「姿勢と歩行の制御：知覚的調整の視点から」

本講演では、“知覚的調整”という視点から、立位姿勢・歩行制御の特性を解説します。立位姿勢・歩行時のバランス制御が2つの調整システム（変化に対応するシステム、先を見越した予見的調整システム）によって制御されているという考え方について紹介し、研究事例に沿って、リハビリ対象者が知覚的調整という視点から、どのような問題を抱えているかをご紹介します。

② 「コーディネーション理論から見た運動学習」

「コーディネーション理論」とは、徳島大学名誉教授である荒木秀夫教授が30年間に渡り研究されている理論です。本講演では、これに基づいて、各領域で実践を踏まえた、身体・脳・精神に対する刺激としての運動を課すことによって、コーディネーションの質的改編を果たし、結果として潜在的な学習能力を高めることを意図するコーディネーショントレーニングを解説します。また、その内容は6領域に渡りますが、今回は、これまでの研究と実践を踏まえた、とりわけ能力障害への対処を含めたコーディネーション理論の概要をご紹介します。

③ 「Discussion：知覚運動のシステム理論の真意に迫る」

「知覚運動のシステム理論」という観点から、お二人の視点で更に深く掘り下げて頂きます。内容は、日々の臨床や研究を通じてお互いの考察、また、会場からの質問にも対応し、セラピストが日々抱える問題の解決にお力添えして頂こうと考えています。